

会員各位

石灰石鉱業協会保安部

平成 30 年度第 2 回安全体感教育研修（和歌山コース）

参加者募集について

当協会保安部では危険に対する感受性を高めることを目的とした「安全体感教育研修（一日コース）」を例年企画しています。今年度第 1 回（鹿島コース）は 7 月に実施しましたが、第 2 回（和歌山コース）を下記要領で行いますのでご案内致します。

当研修は日鉄住金ビジネスサービス㈱が実施しているもので、内容は高所危険体感コーナー（90 分）、電気危険体感コーナー（90 分）、回転体危険体感コーナー（60 分）、玉掛け作業危険体感コーナー（50 分）、その他危険体感コーナー（40 分）などがあり、実技形式で行われます。（研修内容は別紙参照）

参加を希望される場合は、下記締切り日までに、当協会保安部宛に別添「平成 30 年度第 2 回安全体感研修 申込用紙」にご記入の上、FAX または E メールにてご送付ください。

記

1. 研修日時、定員、申込締切り

コース名	研修日時	定員	申込締め切り
和歌山コース	平成 31 年 1 月 16 日(水) 8 : 50 ~ 16 : 15	15 名	12 月 12 日(水)締切

2. 研修会場

日鉄住金ビジネスサービス和歌山(株)教育部（和歌山県和歌山市）
（新日鉄住金(株)和歌山製鉄所内：新大阪より特急で約 1 時間）

3. 参加費用

参加費用（下記①+②）は研修終了後に参加各社に請求いたします。

- ①受講料 : 20,000~22,000 円程度（参加者数が確定後お知らせいたします）
- ②その他 : 昼食代（700 円程度）、送迎費（千円程度）

*研修前日の宿泊は和歌山市内のビジネスホテルを予定しています。

4. 参加案内

現地までの交通案内、宿泊施設および服装等詳細につきましては参加者確定後、別途お送りします。

5. 本件についてのお問い合わせ先

石灰石鉱業協会 保安部（担当 吉野）
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-7-1 瀬木ビル 4 階
TEL : 03-5687-7650(代)、 FAX : 03-5687-0800
E-mail : yoshino@limestone.gr.jp

以上

安全体感教育研修（一日コース）の主な研修項目

1) 高所危険体感コーナー

- ・5m 墜落衝撃体感・・・タックルバッグを落下させ、その衝撃を体感する。
- ・安全ネットによる墜落衝撃体感・・・タックルバッグを安全ネットで受け止める。
- ・安全帯ぶら下がり体感・・・安全帯でぶら下がり、正しい装着方法を学ぶ。
- ・安全帯衝撃体感・・・一度落下衝撃がかかったロープが伸びて弱くなっていることを体感。
- ・安全帯ぶら下がり体感（フルハーネス）・・・フルハーネス型の安全帯を装着して安定性を体感。

2) 回転体危険体感コーナー

- ・稼働設備清掃巻き込まれ危険体感・・・乾いたタオルは巻き込まれないが、グリスがあると巻き込まれやすい。
- ・低速回転巻き込まれ危険体感・・・ロープを使い、プーリーに巻き込まれたときの力の強さを体感。
- ・高速回転巻き込まれ危険体感・・・プーリーを高速回転にして、巻き込まれの衝撃を体感。
- ・Vベルト・ローラーチェーン巻き込まれ危険体感・・・回転部に手が巻き込まれた場合の危険を体感。
- ・ドリル巻き込まれ危険体感・・・なぜ旋盤使用時は手袋使用禁止なのかを学ぶ。

3) 電気危険体感コーナー

- ・低圧電気危険体感・・・低電圧の電線に触れ、手が濡れていると電流が流れ易いことを体感。
- ・手持ち電気品危険体感・・・コードリールのアースの取り方、電気工具の漏電対策について学ぶ。
- ・トラッキング危険体感・・・コンセントを放置してホコリが溜まると起きるトラッキング現象の怖さを体感。
- ・高圧電線接触危険体感・・・高圧電線には触れなくても感電する可能性があることを学ぶ。

4) 玉掛け作業危険体感コーナー

- ・吊荷落下危険体感・・・一本吊りがなぜ危険か。また、当て物の重要性を体感。
- ・手指挟まれ危険体感・・・玉掛ワイヤーに手が挟まれたときの危険を体感する。
- ・吊荷落下危険体感・・・チェーンブロックを正しく使用しないと荷が傾き危険な場合がある。

5) その他危険体感コーナー

- ・鉄板落下危険体感（安全靴）・・・安全靴にも保護範囲や耐荷重に限界がある。
- ・溶接ヒューム危険体感（じん肺）・・・溶接時の煙には多量の鉄粉がふくまれている。